

2023年1月

S&P500の次はどうする？

波乱相場で考えたい

次の一手!

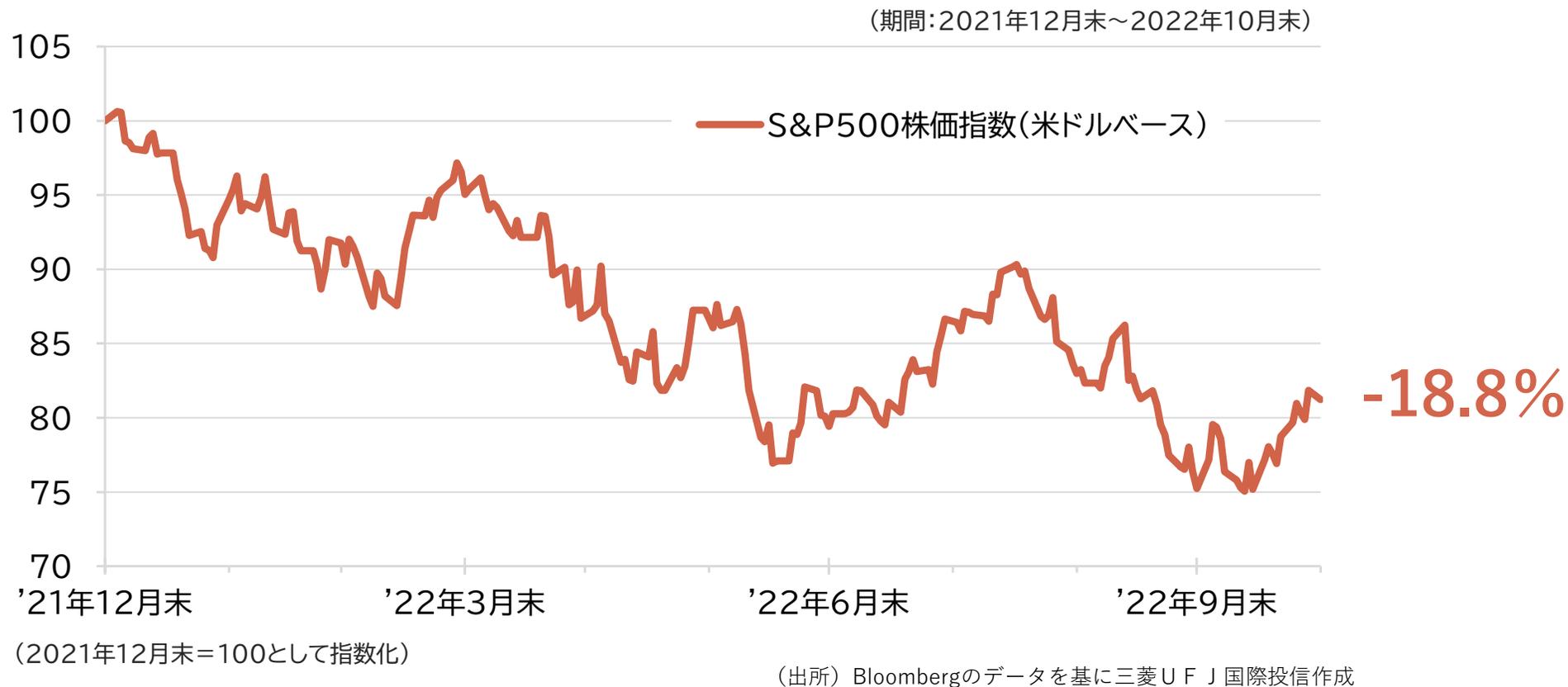


The background features a stylized American flag with a blue field of white stars and red and white stripes. In the upper right corner, there are several overlapping, glowing gold ribbons or rings. The text is positioned on the left side of the flag.

S&P500一本持ちで  
問題ない？

---

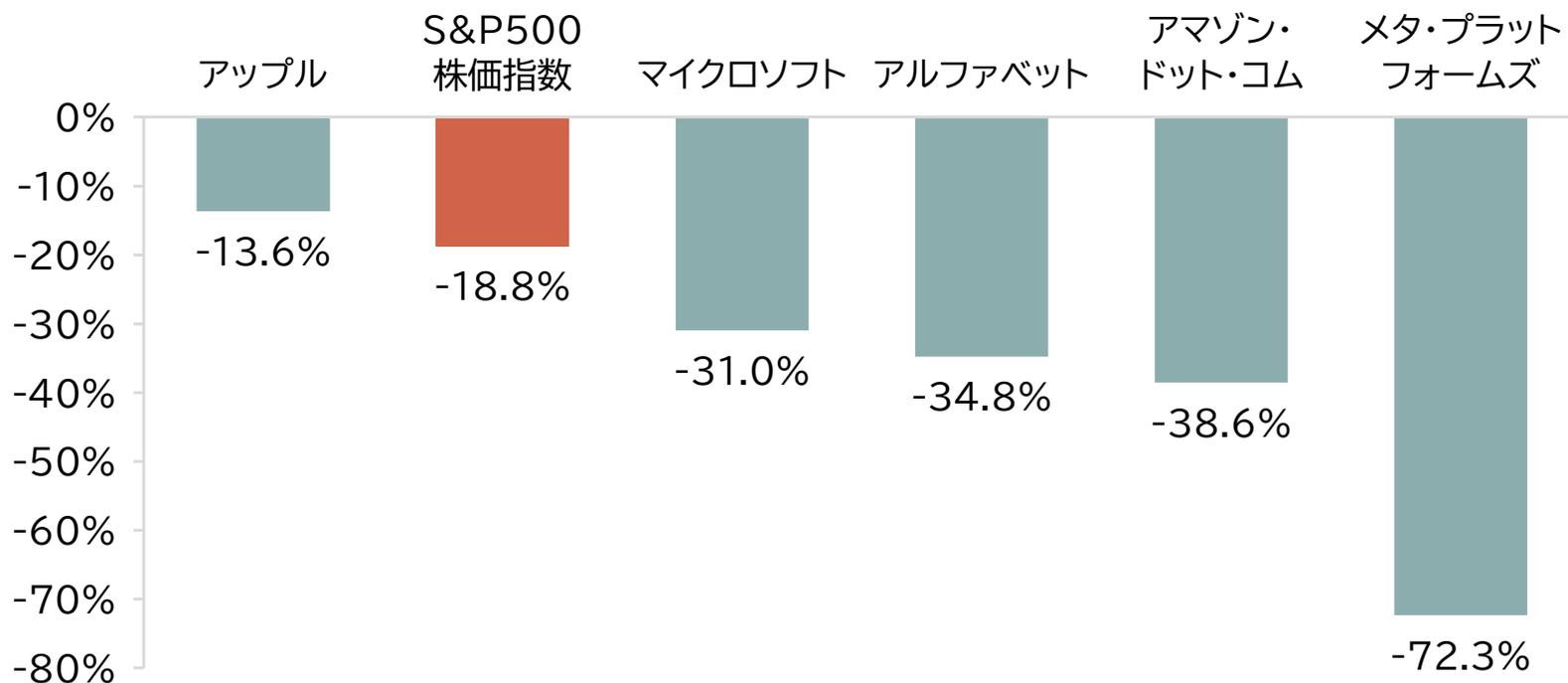
# 2022年のS&P500株価指数の値動き



- 上記は、米ドルベースの指数を使用しています。指数については【本映像で使用している指数について】をご参照ください。
- 表示桁数未滿を四捨五入しています。
- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

# “GAFAM\*”の株価は大きく下落

(期間:2021年12月末~2022年10月末)



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

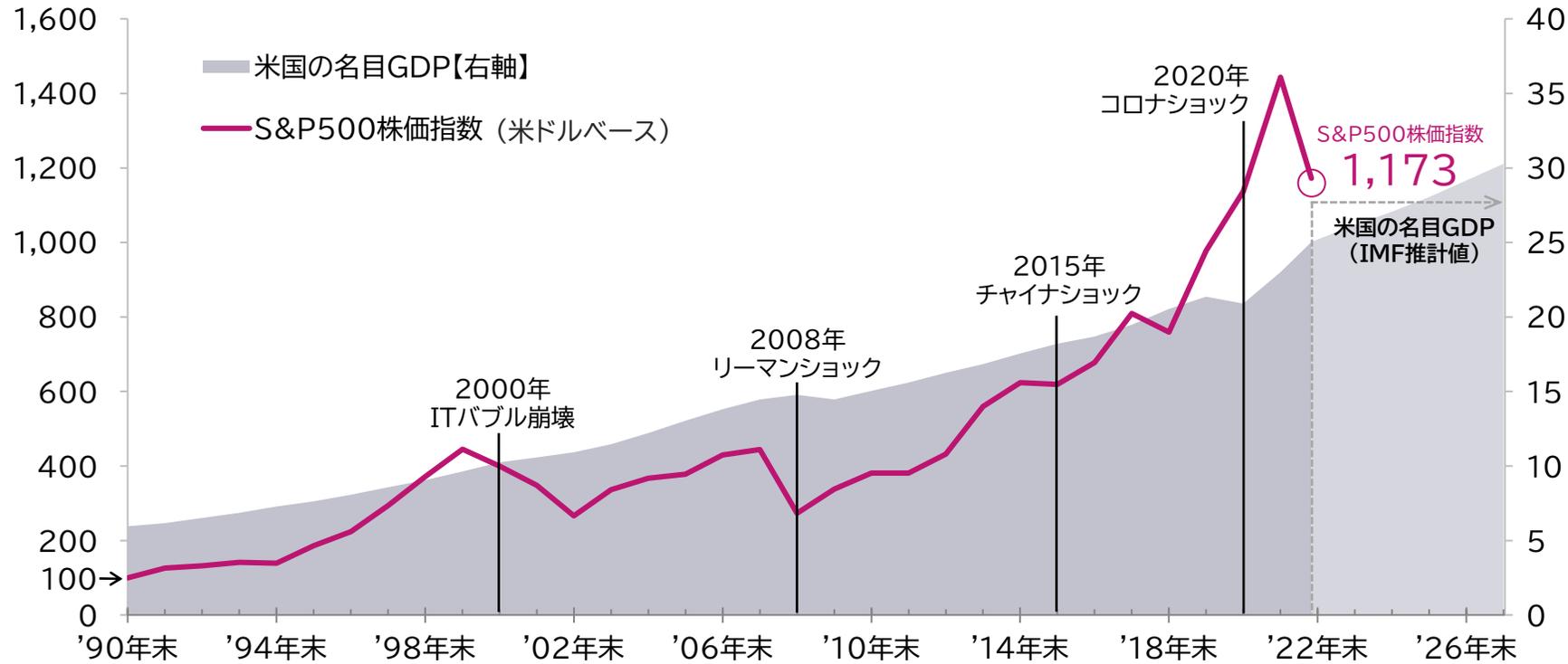
- 上記は、米ドルベースの指数および株価を使用しています。表示桁数未満を四捨五入しています。
- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

\*「GAFAM」とは、所謂プラットフォームと称される巨大IT関連企業(アルファベット(Google)、アマゾン・ドット・コム、メタ・プラットフォームズ(Facebook)、アップル、マイクロソフト)の頭文字を並べた造語です。

なお、当頁では「GAFAM」と称される銘柄の2022年初来の株価をご紹介することを企図しており、これらの銘柄を推奨するものではありません。

# S&P500への投資はやめるべき？

(期間:1990年末~2022年\*、名目GDPは2027年まで(一部推計値を含みます))  
(\*2022年は10月末の状況) (兆米ドル)



・S&P500株価指数:1990年末=100として指数化

(出所)Bloomberg、IMF World Economic Outlook Database October 2022のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- 上記は米ドルベースの指数を使用しています。指数については【本映像で使用している指数について】をご参照ください。表示桁数未満を四捨五入しています。
- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

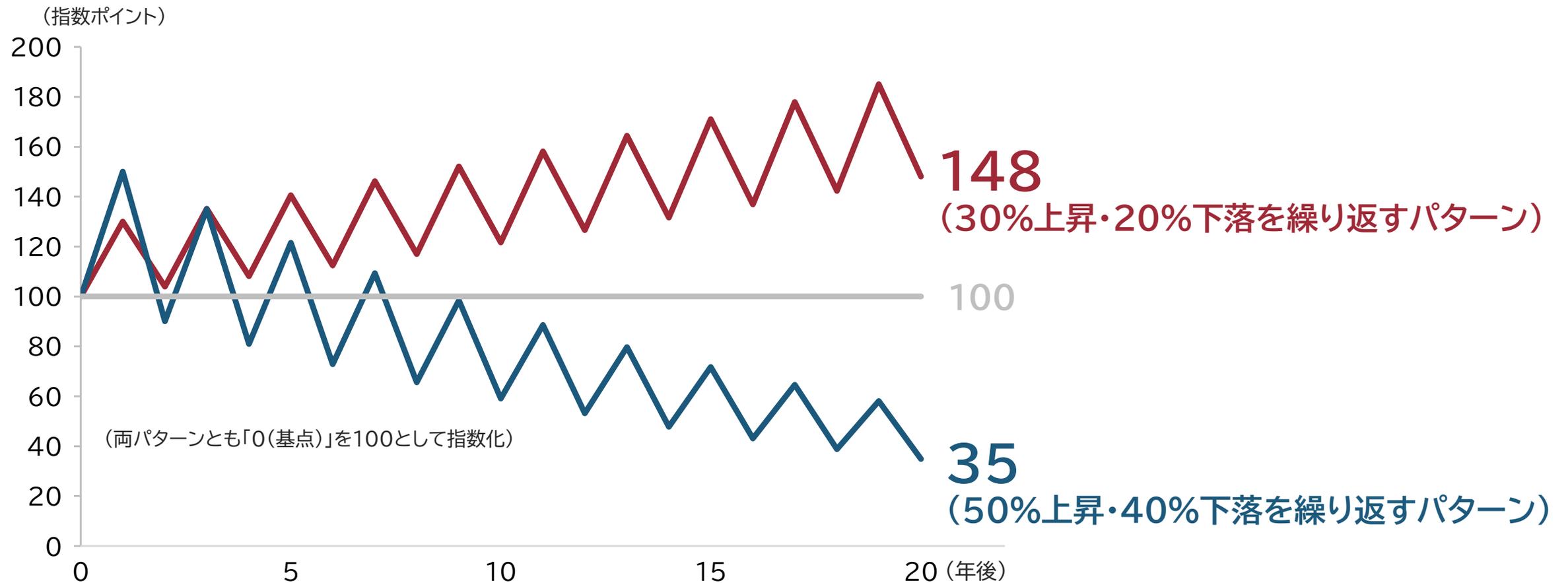
【本映像に関するご注意事項】を必ずご覧ください。



S&P500の次はどうする？  
波乱相場で考えたい  
「次の一手」

---

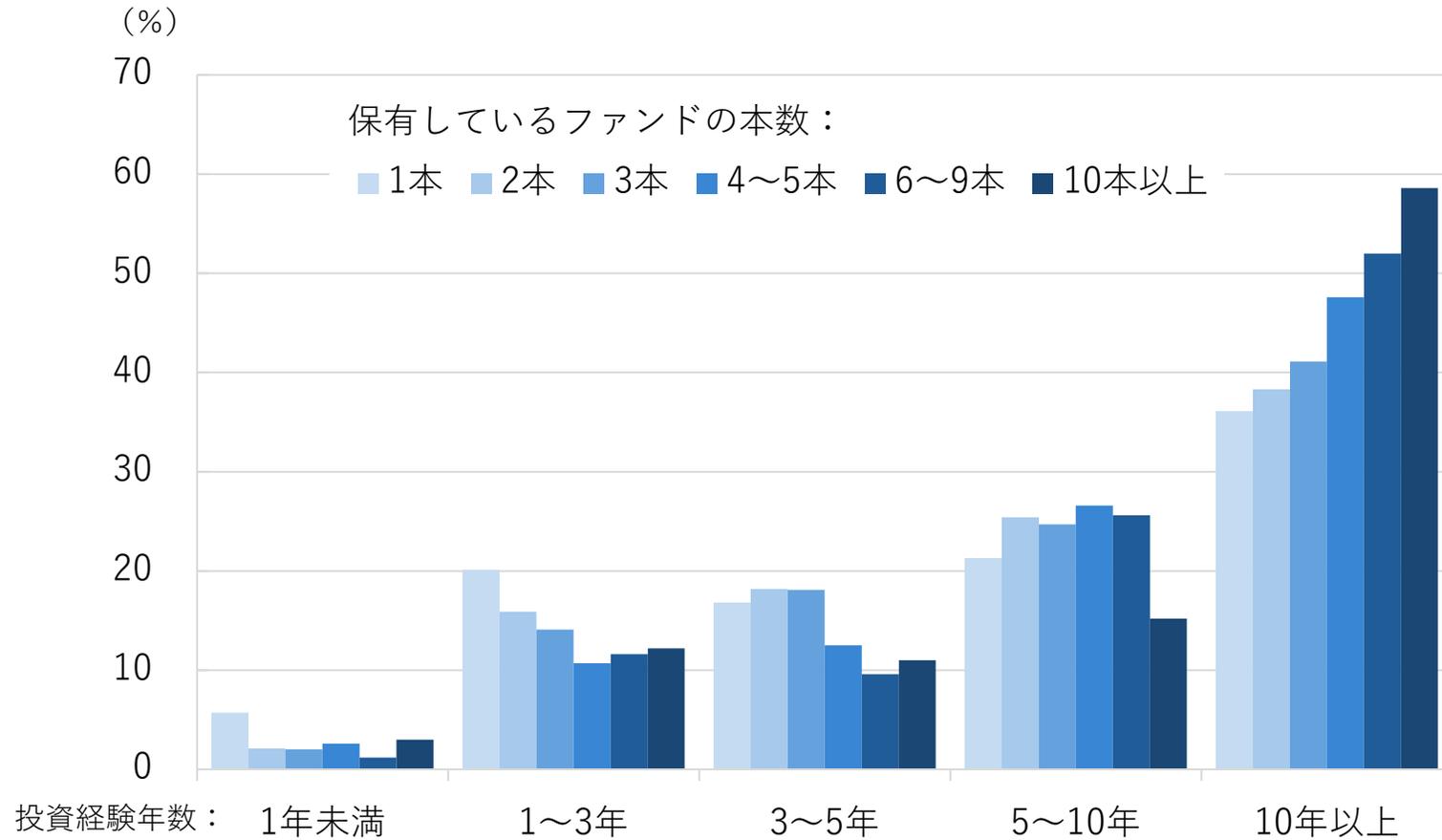
# 下落率を少なくすることが大切



・ 上記は、各価格変動パターンに基づくイメージであり、実際の値動きではありません。

# 投資経験が長いほど複数ファンドを保有

< 投資信託の保有本数別でみた、各投資経験年数の割合 >



(出所) 三菱UFJ国際投信実施のアンケート  
実施時期：2020年3月下旬  
調査対象：全国・男女・20~60代で投資信託を保有している方

(サンプル数：4,257人)

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

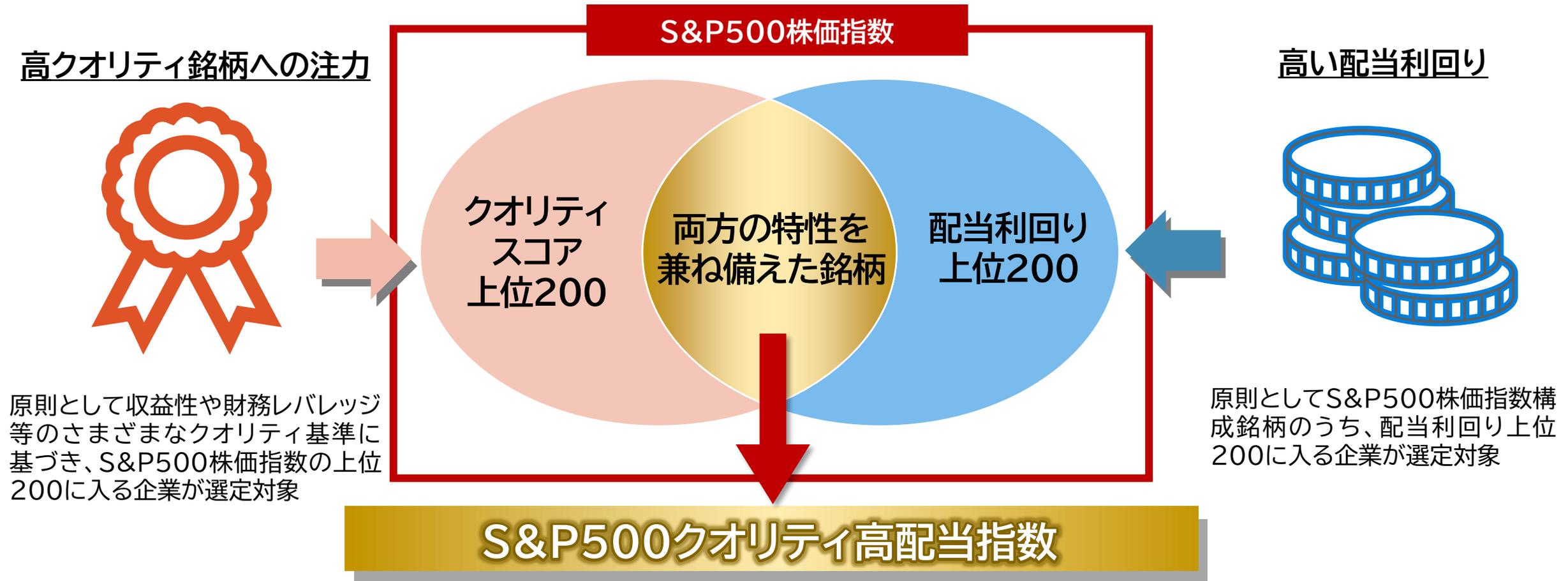
“米国株式”の新たな選択肢

クオリティ×高配当



S&P500株価指数

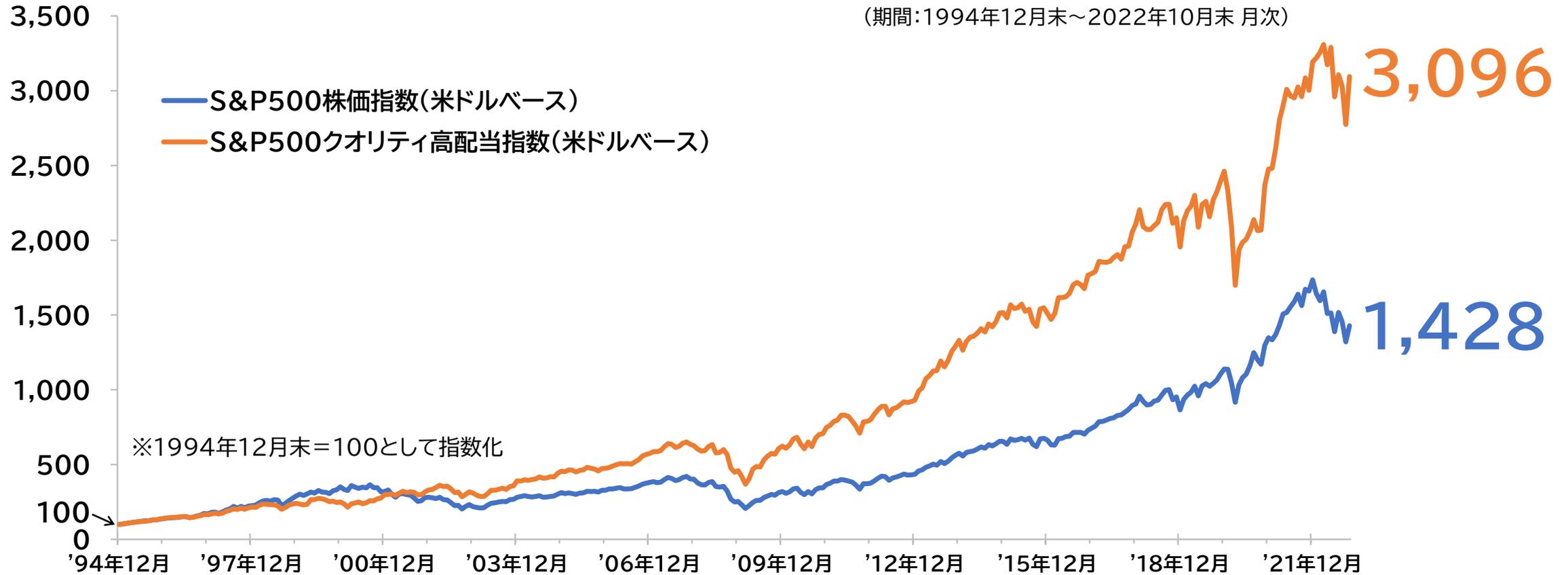
# クオリティ高配当ってなに？



※ 上記は指数組成のイメージ或いは方法論であり、全ての情報を網羅するものではありません。

(出所)S&Pダウ・ジョーンズのデータ等を基に三菱UFJ国際投信作成

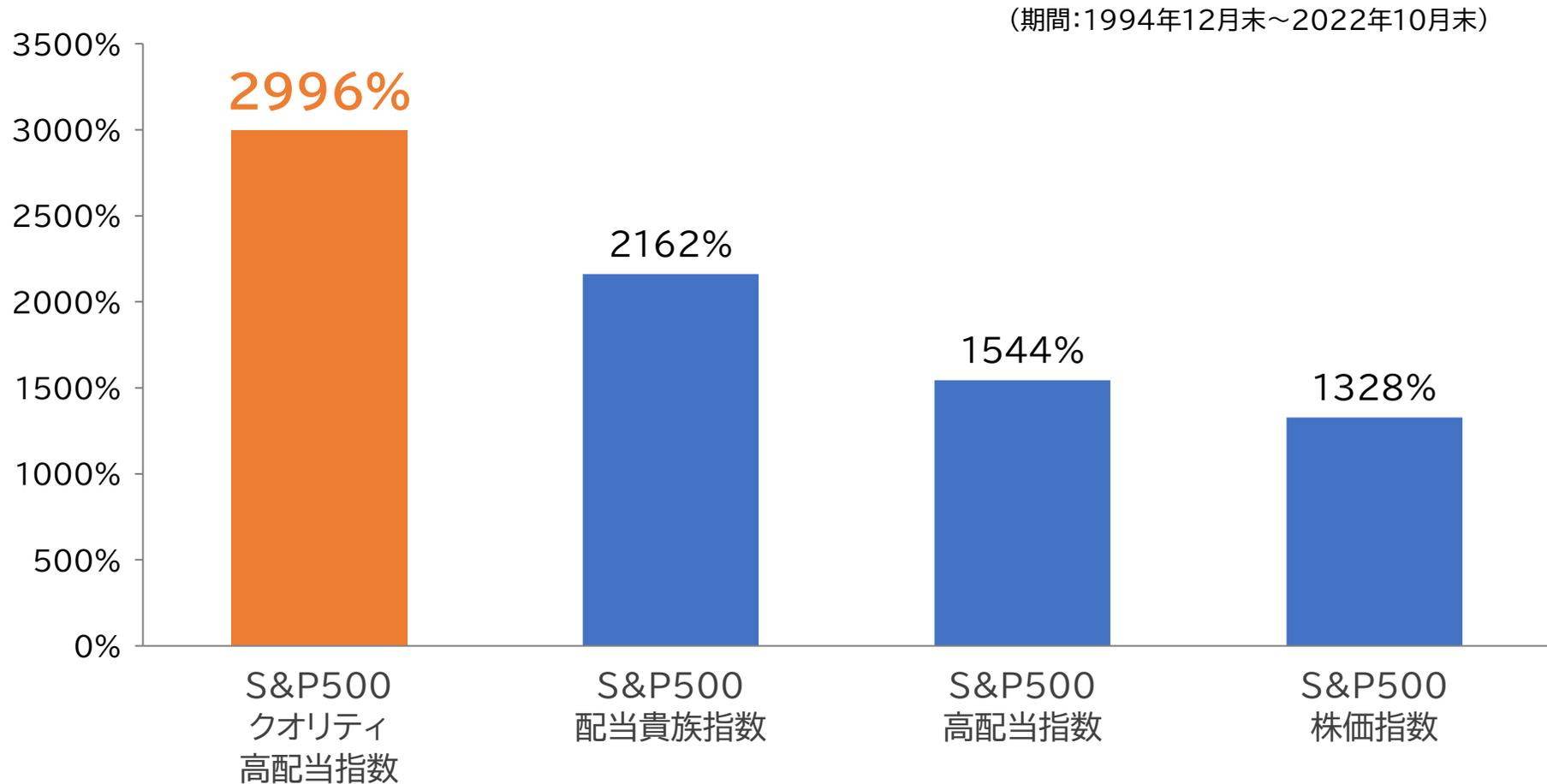
# 特徴① 長期のパフォーマンスはS&P500株価指数を上回る



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・上記指数は、米ドルベース・配当込みです。指数については【本映像で使用している指数について】をご参照ください。表示桁未満は四捨五入しています。
- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
- ・1994年12月末はS&P500クオリティ高配当指数の算出開始月です。

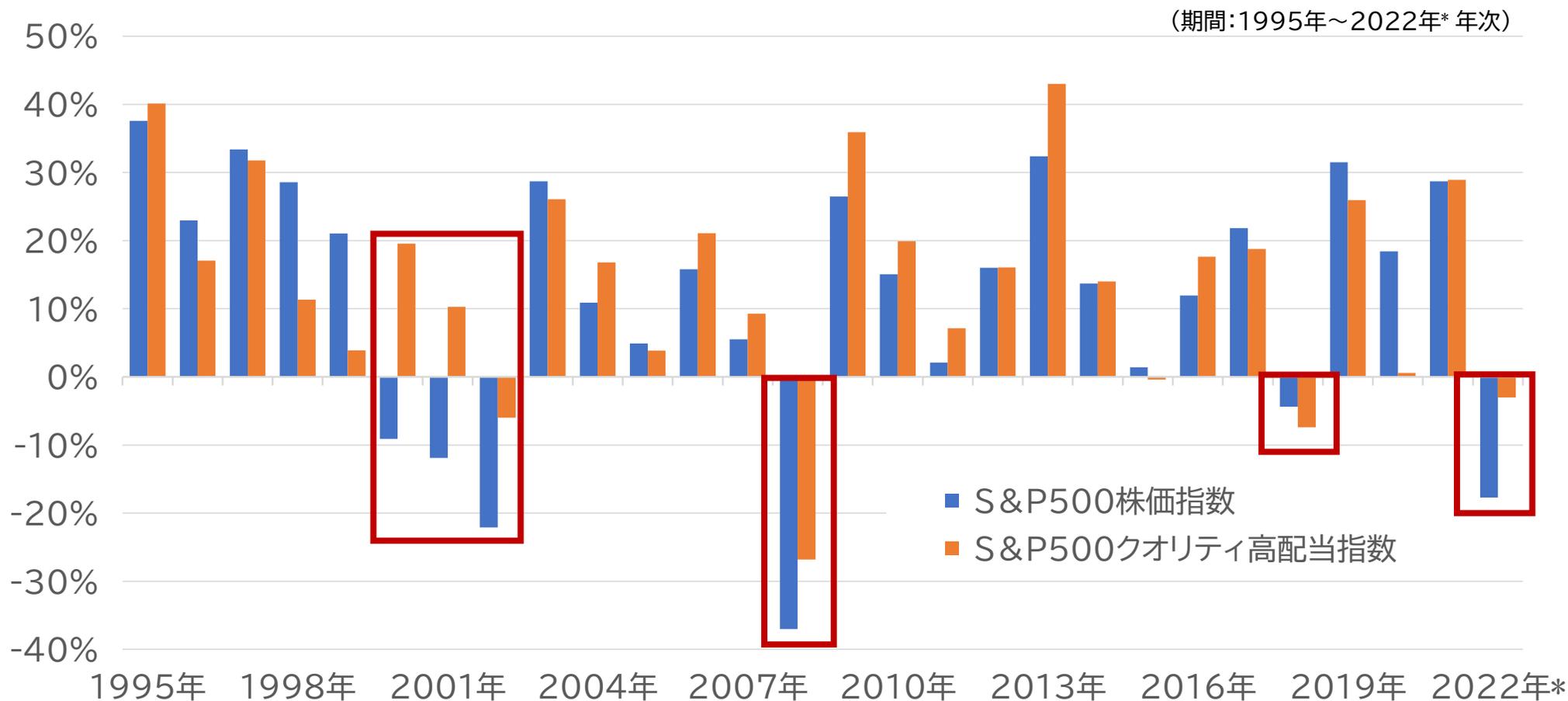
# 特徴① 長期のパフォーマンスはS&P500株価指数を上回る



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・上記指数は、米ドルベース・配当込みです。指数については【本映像で使用している指数について】をご参照ください。
- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
- ・計測期間が異なれば結果も異なることにご注意ください。表示桁数未満を四捨五入しています。

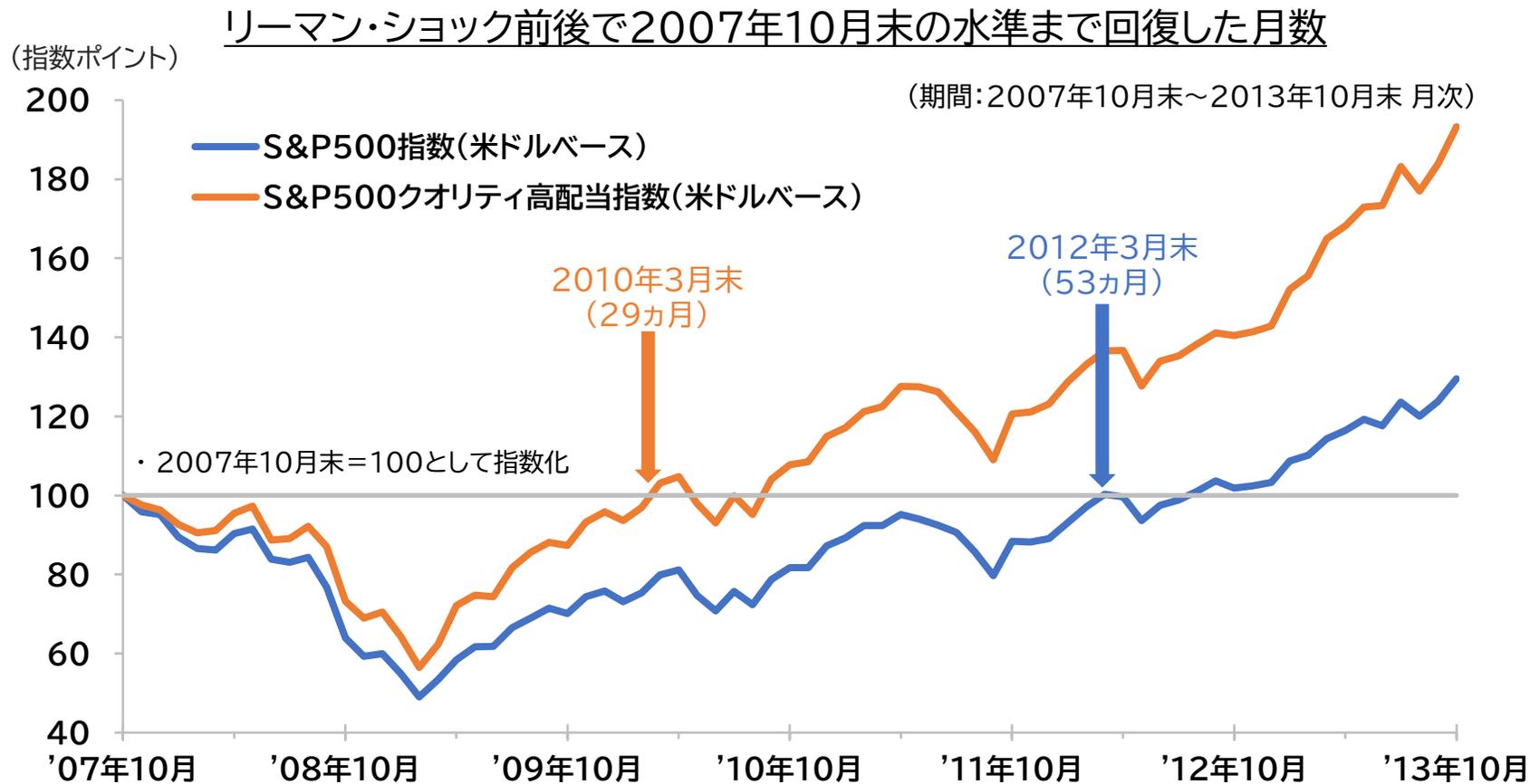
## 特徴② 下落局面の多くで「下値抵抗力」を発揮



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成 \*2022年は10月末時点

- ・上記指数は、米ドルベース・配当込みです。指数については【本映像で使用している指数について】をご参照ください。
- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

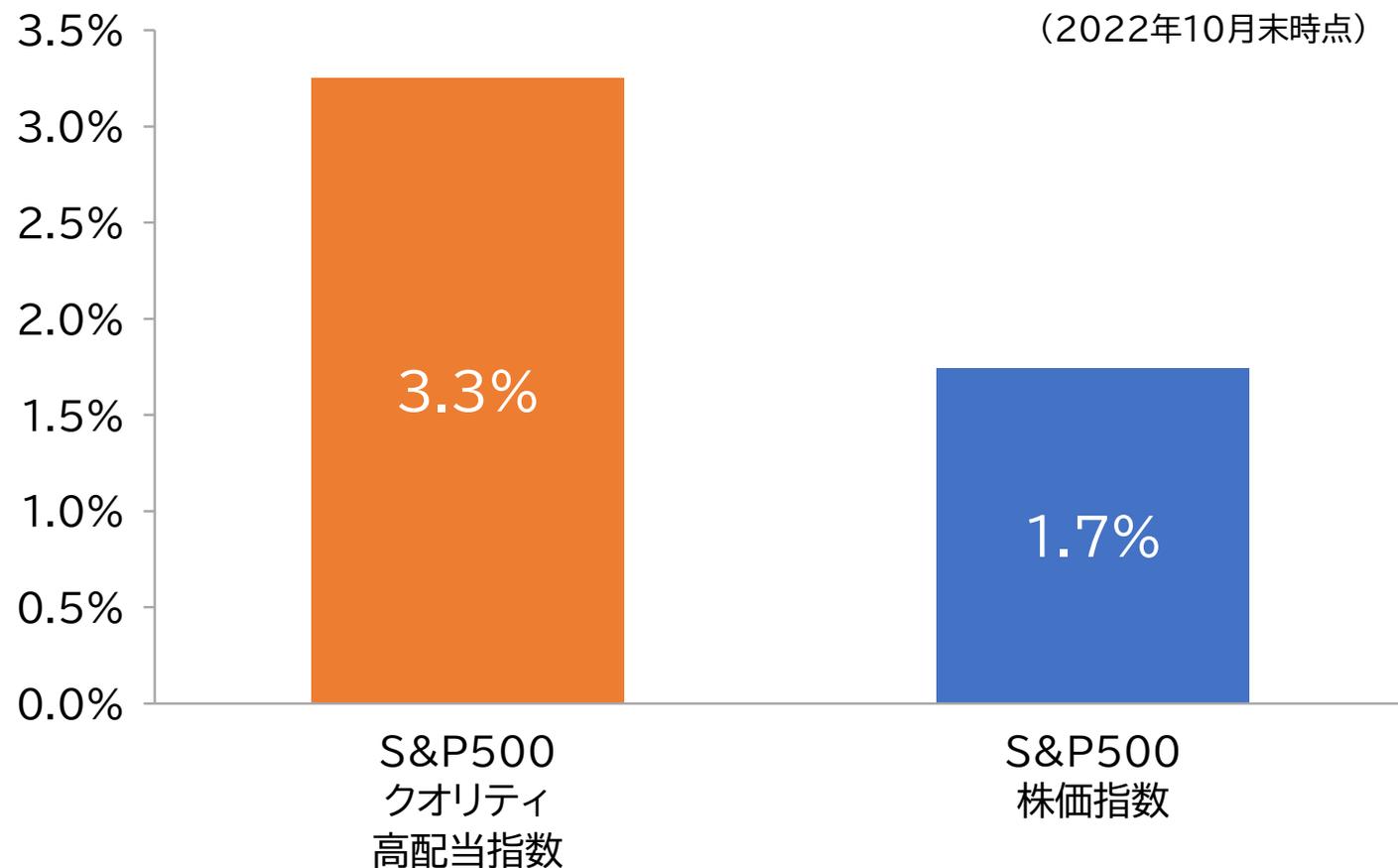
## 特徴② 下落局面の多くで「下値抵抗力」を発揮



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・上記指数は、米ドルベース・配当込みです。指数については【本映像で使用している指数について】をご参照ください。
- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

# (ご参考)配当利回りの比較



(出所)S&Pダウ・ジョーンズのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
- ・表示桁数未満を四捨五入しています。

# 特徴③ S&P500株価指数との業種の違い

(2022年10月末時点)

業種名	①S&P500クオリティ 高配当指数の業種ウェイト	②S&P500株価指数 の業種ウェイト	両指数の業種ウェイトの差 (①-②)
金融	26%	11%	15%
生活必需品	13%	7%	6%
資本財・サービス	13%	8%	5%
エネルギー	8%	5%	3%
素材	4%	3%	2%
不動産	2%	3%	0%
一般消費財・サービス	11%	11%	0%
公益	2%	3%	-1%
コミュニケーション・サービス	2%	8%	-6%
ヘルスケア	9%	15%	-7%
情報技術	9%	26%	-17%

(出所)S&Pダウ・ジョーンズのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
- ・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。表示桁数未滿を四捨五入しています。

# 特徴③ S&P500株価指数との銘柄の比較

(2022年10月末時点)

## 両指数の構成比率上位10銘柄

### S&P500クオリティ高配当指数

銘柄	業種
1 ジェニユイン・パーツ	一般消費財・サービス
2 ギリアド・サイエンシズ	ヘルスケア
3 プリンシパル・ファイナンシャル・グループ	金融
4 ダーデン・レストランツ	一般消費財・サービス
5 ゼネラル・ミルズ	生活必需品
6 カミンズ	資本財・サービス
7 JMスマッカー	生活必需品
8 ペプシコ	生活必需品
9 ゼネラル・ダイナミクス	資本財・サービス
10 ケロッグ	生活必需品

### S&P500株価指数

銘柄	業種
1 アップル	情報技術
2 マイクロソフト	情報技術
3 アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス
4 テスラ	一般消費財・サービス
5 アルファベット クラスA	コミュニケーション・サービス
6 バークシャー・ハサウェイ(B株)	金融
7 ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア
8 アルファベット クラスC	コミュニケーション・サービス
9 エクソン・モービル	エネルギー
10 ジョンソン・エンド・ジョンソン	ヘルスケア

(出所)Bloomberg、S&Pダウ・ジョーンズのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。  
・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。



新ファンドのご紹介

eMAXIS S&P500  
クオリティ高配当インデックス

---

# S&P500株価指数から 優良 & 高配当株に厳選投資！



## eMAXIS S&P500クオリティ高配当インデックス

設定日: 2023年 1月12日(木)

信託報酬: 年率 0.30%(税抜)以内

年率 0.33%(税込)以内

購入時手数料: なし

※ その他の費用・手数料等、詳細は後述の「リスク・費用」をご確認ください。

eMAXIS 新商品発表会のご案内

# eMAXIS 新商品発表会 開催決定！

※ 本発表会では金融商品を勧誘する  
内容が含まれる場合があります。

日程

2023年1月27日（金）

申込方法

右記の二次元バーコードより  
三菱UFJ国際投信のLINEアカウント  
にご登録の上、お申し込みください。



本映像は「eMAXIS S&P500クオリティ高配当インデックス」をご紹介するために概略を記載したものです。  
このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

## e M A X I S S&P500クオリティ高配当インデックス

### ■ リスク・費用等

#### 【投資リスク】

基準価額の変動要因: 基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

#### 【ファンドの費用】

購入時	購入時手数料	ありません。
保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 <b>年率0.33%(税抜 年率 0.30%)以内</b> をかけた額
	その他の費用・手数料	・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。
換金時	信託財産留保額	ありません。

※ 運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※ 上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

### ■ 課税関係

課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

## 本映像で使用している指数について

### ■S&P500®指数

S&P500®指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している株価指数で、米国の代表的な株価指数の1つです。市場規模、流動性、業種等を勘案して選ばれたニューヨーク証券取引所等に上場および登録されている500銘柄を時価総額で加重平均し指数化したものです。

### ■S&P500配当貴族指数

S&P500配当貴族指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが算出・公表しているS&P500構成銘柄の中から25年間連続増配している企業を抽出し、算出している株価指数です。25年間連続増配している銘柄の数が40を下回った場合には、20年以上連続して増配している銘柄の中から配当利回りの高い順に40銘柄になるまで構成銘柄の追加を行います。それでもなお銘柄数が40に満たない場合には、配当利回りの高い順に40銘柄になるまで構成銘柄の追加を行います。

### ■S&P500クオリティ高配当指数

S&P500クオリティ高配当指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが算出・公表しているS&P500構成銘柄の中から、業績・財務安定性および配当利回りを基に抽出し算出している株価指数です。

### ■S&P500高配当指数

S&P500高配当指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが算出・公表しているS&P500構成銘柄の中から配当利回りが高い80銘柄のパフォーマンスを計測する株価指数です。

本映像中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)を合わせてご確認ください。

### ◆GICS(世界産業分類基準)について

Global Industry Classification Standard(“GICS”)は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

## 本映像に関するご注意事項

- 本映像は、S&P500®株価指数の状況およびS&P500クオリティ高配当指数を投資対象とするファンドをご理解いただくことを目的に三菱UFJ国際投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示ではありません。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 本映像の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本映像は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 本映像は、一部イメージを含んでおります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、消費者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

### ●本映像の作成は

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

# 投資信託のリスクと費用について

投資信託は、商品によりその投資対象や投資方針、申込手数料等の費用が異なり、多岐にわたりますので、当該商品の目論見書、契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

## 投資信託の取引にかかるリスク

- 主な投資対象が国内株式  
組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- 主な投資対象が円建て公社債  
金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- 主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの  
組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

## 投資信託の取引にかかる費用

各商品は、銘柄ごとに設定された購入又は換金手数料（最大税込4.40%）および運営管理費用（信託報酬等）の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

- お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用  
「買付手数料」：ファンドによって異なります。
- 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用  
「ファンドの管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。
- ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用  
「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、信託報酬、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認くださいませよう願いたします。

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。

## 投資信託に関する情報提供について

- 楽天証券株式会社がウェブページ上で掲載している投資信託関連ページは、お取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘や特定銘柄への投資を推奨するものではありません。
- 各投資信託関連ページに掲載している投資信託は、お客様の投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 各投資信託関連ページで提供している個別投資信託の運用実績その他の情報は、当該投資信託の今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、また、将来の運用成果をお約束するものでもありません。

(楽天証券分類およびファンドスコアについて)

● 楽天証券ファンドスコアは、「運用実績」を一定の算出基準に基づき定量的に計算したもので今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、将来の運用成果をお約束するものでもありません。最終的な投資判断は、運用コスト、残高の規模、資金流出入額、運用プロセス、運用体制等を考慮し、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。

● 情報提供：株式会社QUICK

各投資信託関連ページに掲載している情報（以下「本情報」という）に関する知的財産権は、楽天証券株式会社、株式会社QUICKまたは同社の情報提供元（以下三社を合わせて「情報提供元」という）に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じた損害について、情報提供元は原因の如何を問わず一切の責任を負いません。本情報の内容については、蓄積・編集加工・二次加工を禁じます。また、予告なしに変更を行うことがあります。

## 免責事項

本資料は、将来の株価変動等を予測し保証するものではありません。また、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。記載された情報の正確性について万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何ら責任を負うものではありませんのでご了承ください。

資料に記載している価格、数値、金利等は、諸情勢により変化し実際とは異なる場合がございます。また、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承下さいませお願い申し上げます。

楽天証券の各取扱商品等に投資いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また各取扱商品等は、価格の変動等によって損失が生じるおそれがあります。投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ウェブサイトの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページや「契約締結前交付書面」等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

投資信託は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（ファンドごとのリスクは異なります。必ず、各ファンドの目論見書にてご確認ください）。投資信託をご購入の際は、あらかじめ最新の投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。なお、投資信託は預貯金とは異なります。ご購入時には各ファンドごとに設定された所定の手数料がかかります。

<金融商品仲介業者の商号等>

商号等：株式会社Good Moneyger

登録番号：関東財務局長（金仲）第786号

<所属金融商品取引業者の商号等>

商号等：楽天証券株式会社/金融商品取引業者関東財務局長（金商）第195号/商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

**Rakuten 楽天証券**

楽天証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号  
加入協会：日本証券業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

設定・運用は

**三菱UFJ国際投信**

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会